

発行所
東武よみうり新聞社
〒343-0843
埼玉県越谷市蒲生茜町3-9
電話 (048)987-0611
Fax (048)987-0614

「職場体験」の支援強化を



「越谷らるご」は働く卒業生たちの体験を聞く「仕事の話の聞く会」を開いている(りんごの木で)

「越谷らるご」

不登校 経験者ら 後押し

不安解消へ 皆で応援を

地域の理解も進む

越谷市の「NPO法人 越谷らるご」(増田良枝理事長)はこのほど、不登校を経験したり、高校を中退した子どもたちの「職場体験について」の調査報告書をまとめた。2010年度から3年間、文部科学省の委託で、「越谷らるご」が運

職場体験で報告書

営する、「フリースクールりんごの木」の活動として調査した。その結果、不登校の子どもの多くは、自分の生き方に自信が持てず、自立するには将来の職業選択に役に立つ「職場体験」を支援する体制づくりが必要になるとが浮き彫りになった。

今回、調査にあたり「越谷らるご」は地域の団体や大学、企業、商店などに働きかけ、増田理事長をはじめ、朝日雅也・埼玉県立大学保健医療福祉学部教授、鈴木雄一・連合埼玉顧問、森島知之・せんべい台東口商店会長ら9人で構成する運営協議会を立ち上げた。

地域や職場に不登校の子どもたちへの理解を深めてもらうことから始め、不登校経験者が社会参加への一歩を踏み出すきっかけを模索しながら、「不登校を経験し通信制高校に在籍する子どもや高校を中退した子どもの職場体験についての実践的調査研究」を進めた。

職場体験の1年目は高齢者介護施設や楽器店、コミユニティカフェ(喫茶店)など10か所。2年目は保育所や果樹園、デザイン事務所、ラーメン店など9か所で、3年目は、せんべい工場やゲームソフト店などが加わり12か所まで増えた。3年目は8人の子どもが体験した。

せんべい工場で体験した男子は「仕事は難しくなかった。社員の皆さんが温かかった。段ボールを結束する機械がおもしろかった」と職場に興味を示していた。不登校やひきこもりを体験した先輩たちの体験を聞く機会も設け、フリースクールを出て消防士や洋菓子職人、デザイナーになった人などが自らの歩みを語った。

職場体験の1年目は高齢者介護施設や楽器店、コミユニティカフェ(喫茶店)など10か所。2年目は保育所や果樹園、デザイン事務所、ラーメン店など9か所で、3年目は、せんべい工場やゲームソフト店などが加わり12か所まで増えた。3年目は8人の子どもが体験した。

せんべい工場で体験した男子は「仕事は難しくなかった。社員の皆さんが温かかった。段ボールを結束する機械がおもしろかった」と職場に興味を示していた。不登校やひきこもりを体験した先輩たちの体験を聞く機会も設け、フリースクールを出て消防士や洋菓子職人、デザイナーになった人などが自らの歩みを語った。

報告書では、3年間の体験活動の成果として①地域とのつながりが深くなった②子どもたちの「仕事」や職場体験へのハードルが下がった③「働く」ことを身近に感じ、より具体的に進路について考えるようになった、という。

増田理事長は「不安を抱えている子どもにとって、大人たちの『大丈夫、応援している』という温かな受け止めが何より必要で、やってみようかなと、一歩を踏み出すきっかけとなります。委託事業は終了しましたが、皆さんとの出会いを大切に、今後りんごの木として独自の活動を続けていきます」と話している。

現在、「フリースクールりんごの木」には小学生から20歳代までの39人が通っている。自主的な勉強のほか、料理や音楽(バンド)活動、機関紙発行など子どもたちの関心の高いものについて、必要に応じて講師を招いている。

フリースクールの出身者は大学進学をはじめ、プログラマー、モデル、介護福祉士、健康運動療法士など多方面で活躍している。